

T&Dインド中小型株 ファンド 愛称:ガンジス

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2011年2月7日から2026年2月10日まで	
運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資法人「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイブロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」および親投資信託「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。 原則として為替ヘッジは行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイブロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	インドの証券取引所に上場する株式のうち、中小型株を主要投資対象とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品为主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。	
	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイブロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以下とします。
	T&Dマネーブルマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

第23期運用報告書（全体版）

（決算日 2022年8月10日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dインド中小型株ファンド」は、2022年8月10日に第23期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			Nifty Midcap 100 (円 換 算)		債 券 組入比率	債 券 先物比率	ライジング・インディア・ フォーカス・ファンド・ リミテッド アイプロ・ インド中小型株ファンド (米ドル建) 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
19期 (2020年 8 月11日)	7,953	0	△18.8	23,123.15	△18.0	—	—	96.5	7,226
20期 (2021年 2 月10日)	10,435	100	32.5	32,655.26	41.2	—	—	94.3	7,440
21期 (2021年 8 月10日)	11,483	500	14.8	41,224.87	26.2	—	—	95.6	5,745
22期 (2022年 2 月10日)	11,758	500	6.7	46,758.65	13.4	—	—	95.8	5,054
23期 (2022年 8 月10日)	12,007	500	6.4	51,567.23	10.3	—	—	95.9	4,742

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 (円換算) を記載しております。参考指数はインドルピー建てのNifty Midcap 100【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		Nifty Midcap 100 (円 換 算)		債 券 組入比率	債 券 先物比率	ライジング・インディア・ フォーカス・ファンド・ リミテッド アイプロ・ インド中小型株ファンド (米ドル建) 組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
期首 (前期末) 2022年 2 月10日	円 11,758	% —	46,758.65	% —	% —	% —	% 95.8
2 月末	11,108	△5.5	42,902.21	△ 8.2	—	—	96.2
3 月末	12,207	3.8	47,687.13	2.0	—	—	95.9
4 月末	12,536	6.6	50,436.47	7.9	—	—	95.5
5 月末	11,624	△1.1	46,835.22	0.2	—	—	96.3
6 月末	11,652	△0.9	46,168.36	△ 1.3	—	—	96.0
7 月末	12,192	3.7	49,316.94	5.5	—	—	95.8
期 末 2022年 8 月10日	12,507	6.4	51,567.23	10.3	—	—	95.9

(注) 基準価額は 1 万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

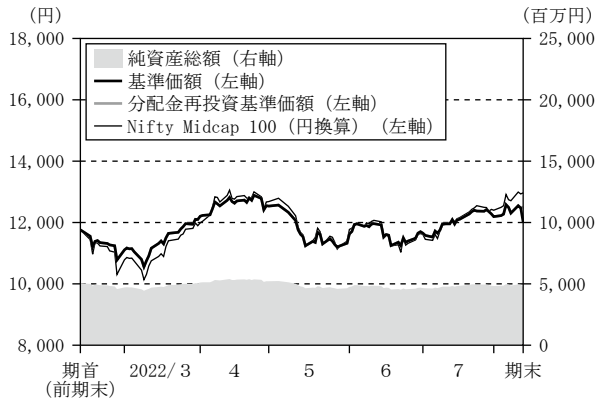
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドはベンチマークを設定しておりません。参考指数としてNifty Midcap 100 (円換算) を記載しております。参考指数はインドルピー建てのNifty Midcap 100【出所：Bloomberg】を当社が独自に円換算したものです。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第23期首：11,758円

第23期末：12,007円（既払分配金500円）

騰落率：6.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年2月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型ファンド（米ドル建）」を通じてインド株式への投資を行いました。インドルピーが対円で上昇したことが基準価額（分配金再投資ベース）上昇の主な要因となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	△8.3%
T&Dマネーボールマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【インド株式市場】

当期のインド株式市場は下落しました。期初から2022年3月上旬にかけて、イングランド銀行やECB（欧州中央銀行）が金融引締めに向き姿勢を示したこと、3月FOMC（米連邦公開市場委員会）における大幅な利上げへの警戒が強まったこと、ロシアのウクライナ侵攻とそれに伴う欧米諸国による対ロシア制裁の発動で、世界経済悪化への懸念が高まったこと等を受け、株価は下落しました。4月の初めまでは、原油価格の高騰が一服し、インフレ加速への懸念が幾らか後退したこと、国内の州議会選挙にて与党が大半の州で勝利し、政局安定への期待が高まったこと、世界経済悪化への過度な警戒が和らいだこと等から、株価は上昇しました。4月上旬以降は、インド準備銀行が利上げに踏み切ったこと、世界的にインフレが加速し、欧米を中心として金融引締め強化の気運が高まったこと等を材料に、株価は下落しました。6月半ばからは、世界経済後退への警戒が強まったものの、原油価格の下落や6月インドCPI（消費者物価指数）の伸びが前月から小幅に鈍化したことを受け、国内のインフレ加速懸念が和らいだこと、米国経済の停滞により、FRB（米連邦準備制度理事会）による今後の利上げ幅が縮小するとの期待等から、株価は上昇基調となりました。このような環境の中、期を通じてみると中小型株は大型株を上回る動きとなりました。

【為替動向】

インドルピーは対円で上昇しました。期初1.56円で始まったインドルピー円は期末に1.71円まで上昇しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.10%から、期末は△0.11%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

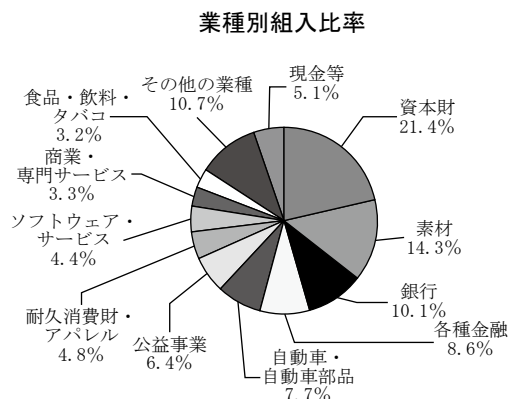
【当ファンド】

「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」および「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率は当ファンドの設定解約の状況により変動しましたが概ね高位を保ち、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率は概ね1%程度を維持しました。

【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択にあたっては、インドの高度経済成長期において高い成長が期待でき、相対的に割安と考えられる株式を選定し、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、ベアリング大手のTimken India Limited、防衛装備品や電子部品を扱うBharat Electronics Ltd.等がポートフォリオの収益にプラス寄与しました。期末時点の株式の組入比率は94.9%、組入銘柄数は40銘柄となりました。また、業種別では、Nifty Midcap 100と比較して、資本財・サービス、素材等をオーバーウェイト、公益事業、ヘルスケア等をアンダーウェイトとしました。

<ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド(米ドル建)の組入状況> 2022年8月8日現在（現地基準）



組入上位10銘柄			
	銘柄名	業種	比率
1	Vinati Organics Ltd	素材	4.7%
2	Cholamandalam Investment and Finance Co Ltd	各種金融	4.1
3	BHARAT ELECTRONICS LIMITED	資本財	4.0
4	Tata Power Co Ltd	公益事業	3.8
5	Ashok Leyland Ltd	資本財	3.7
6	TIMKEN INDIA LTD	資本財	3.6
7	Jindal Steel & Power Ltd	素材	3.5
8	L&T Technology Services Ltd	商業・専門サービス	3.3
9	SUNDRAM FASTENERS LTD	自動車・自動車部品	3.3
10	ICICI Bank Ltd	銀行	3.2

※比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

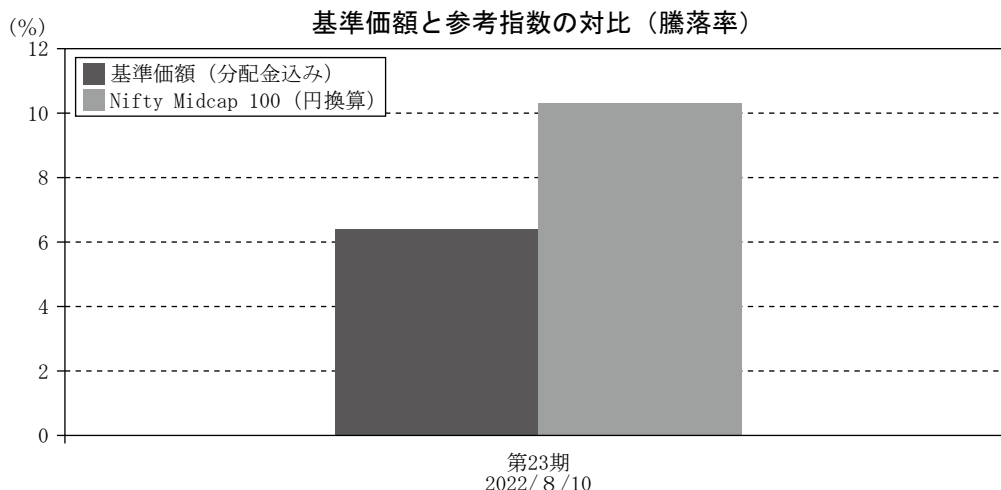
※組入状況は、投資対象ファンドの管理事務代行会社であるAPEX FUND SERVICES (MAURITIUS) LTDより入手したデータをもとに当社が作成したものです。なお、当ファンドへの反映を考慮して、前営業日のデータを表示しております。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



基準価額は期首の11,758円からスタートし、期末は12,507円（分配金込み）と6.4%の上昇となりました。参考指数であるNifty Midcap 100（円換算）は同期間10.3%の上昇となりましたので、参考指数との対比で3.9%下回る結果となりました。基準価額（分配金込み）が参考指数を下回ったのは、「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」で投資するインド株式の銘柄選択が相対的にマイナス寄与したことによるものです。個別銘柄では、ベアリング大手のTimken India Limited等がプラス寄与しました。一方、エンジニアリングや研究開発向けに工学設計サービス等を提供するL&T Technology Services Limited等がマイナス寄与しました。

■ 分配金

1 万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、500円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

運用の基本方針に従い「ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）」の組入比率を高位とし、「T&Dマネープールマザーファンド」の組入比率を0～1％程度で維持し、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）】

銘柄選択に際しては、株価バリュエーションに留意しつつ、バランスシートが健全で競争力が高く、中長期的な成長が期待できる銘柄に注目しており、選別強化を図る方針です。ポートフォリオ構築に際しては、国内消費関連、国内投資関連、輸出関連といった各投資テーマのバランスを重視する方針です。

【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 2 月 11 日から2022年 8 月 10 日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2022/ 2 /11～2022/ 8 /10		
	金額	比率	
平均基準価額	11, 886円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	72円 (25) (45) (2)	0. 605% (0. 207) (0. 382) (0. 016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用)	1 (0) (1)	0. 008 (0. 001) (0. 008)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	73	0. 613	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.06%です。

総経費率（①＋②＋③）	2.06%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

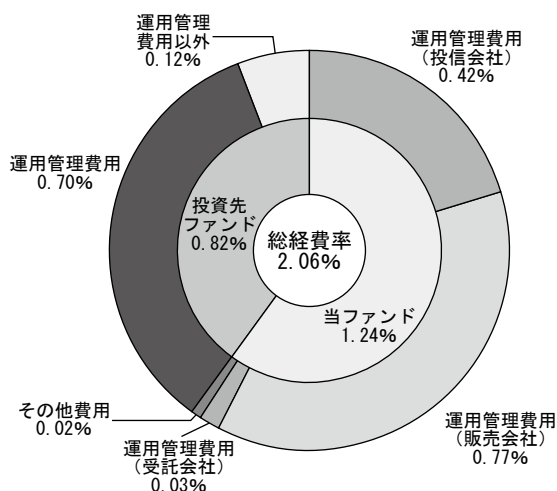
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



売買および取引の状況（2022年2月11日から2022年8月10日まで）

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイブロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	口 —	千アメリカ・ドル —	口 16,315	千アメリカ・ドル 4,780

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等（2022年2月11日から2022年8月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年8月10日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首（前期末）	当 期			末
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	口 130,606	口 114,291	千アメリカ・ドル 33,617	千円 4,546,721	% 95.9

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）比率は純資産総額に対する評価額の比率。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	額
T & D マネープールマザーファンド	千口 69,040	千口 69,040	千円 70,020	千円 70,020

（注）T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は363,210千口です。

（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2022年8月10日現在）

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）	千円 4,546,721	% 91.3
T & D マネープールマザーファンド	70,020	1.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	364,113	7.3
投 資 信 託 財 産 総 額	4,980,854	100.0

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ・ドル＝135.25円

（注）当期末における外貨建純資産（4,547,312千円）の投資信託財産総額（4,980,854千円）に対する比率は91.3%です。

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,980,854,705円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	364,112,620
ライジング・インディア・フォーカス・ ファンド・リミテッド アイプロ・ インド中小型株ファンド(米ドル建)(評価額)	4,546,721,118
T&Dマネープールマザーファンド(評価額)	70,020,967
(B) 負 債	238,573,318
未 払 収 益 分 配 金	197,482,170
未 払 解 約 金	11,143,017
未 払 信 託 報 酬	29,574,845
未 払 利 息	339
そ の 他 未 払 費 用	372,947
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	4,742,281,387
元 本	3,949,643,407
次 期 繰 越 損 益 金	792,637,980
(D) 受 益 権 総 口 数	3,949,643,407口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	12,007円

- (注) 期首元本額 4,298,821,438円
 期中追加設定元本額 359,279,027円
 期中一部解約元本額 708,457,058円
 (注) 1口当たり純資産額は1,2007円です。

損益の状況

当期 自2022年2月11日 至2022年8月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 30,004円
受 取 利 息	5,419
支 払 利 息	△ 35,423
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	311,088,824
売 買 益	784,717,059
売 買 損	△473,628,235
(C) 信 託 報 酬 等	△ 29,976,522
(D) 当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	281,082,298
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	608,444,541
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	100,593,311
(配 当 等 相 当 額)	(290,448,672)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△189,855,361)
(G) 合 計 (D＋E＋F)	990,120,150
(H) 収 益 分 配 金	△197,482,170
次 期 繰 越 損 益 金 (G＋H)	792,637,980
追 加 信 託 差 損 益 金	100,593,311
(配 当 等 相 当 額)	(290,448,672)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△189,855,361)
分 配 準 備 積 立 金	692,074,673
繰 越 損 益 金	△ 30,004

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (281,071,565円)、収益調整金 (290,448,672円) および分配準備積立金 (608,485,278円) より、分配対象収益は1,180,005,515円 (1万口当たり2,987円) であり、うち197,482,170円 (1万口当たり500円) を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2022年2月11日 ～2022年8月10日
当期分配金	500
(対基準価額比率)	3.998
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,487

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

ライジング・インディア・フォーカス・ファンド・リミテッド アイプロ・インド中小型株ファンド（米ドル建）

◆当ファンドの仕組みは以下の通りです。

分 類	モーリシャス籍／外国投資法人／米ドル建
運用方針・ 主要運用対象	中長期的な運用財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 インドの証券取引所に上場する株式のうち、中小型株を主要投資対象とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以下とします。
決 算 日	10月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。（分配方針は変更されることがあります。）
投資顧問会社	アイプロ・ファンド・マネジメント・リミテッド（所在地：モーリシャス）
投資助言会社	インベスコ・アセット・マネジメント（インド）プライベート・リミテッド（所在地：インド）

次ページ以降の記載は、アイプロ・ファンド・マネジメント・リミテッドより入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2020年11月1日～2021年10月31日

単位：USD

受取配当金	366,364
投資に係る損益	29,037,004
収益合計	29,403,368
運用報酬	408,783
管理費用	23,698
受託費用	10,733
監査費用	14,001
金融監督機関に支払う手数料	5,445
税理士に支払う報酬・費用	26,954
外国為替に係る損益	(511)
その他費用	15,994
仲介手数料および取引手数料	79,158
その他の取引費用	80,811
費用合計	665,066
税引前損益	28,738,302
税金	(2,984,630)
運用による純資産増減額	25,753,672

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2021年10月31日

銘 柄 名	株 数	評価額	比 率
		USD	%
Aarti Drugs Ltd	84,700	663,175	1.32
AIA Engineering Ltd	29,100	746,179	1.48
Ashok Leyland Ltd	890,000	1,694,653	3.37
Atul Ltd	4,900	598,097	1.19
Aurobindo Pharma Ltd	106,000	977,072	1.94
Axis Bank Ltd	161,000	1,597,389	3.18
Balkrishna Industries Ltd	37,300	1,226,994	2.44
Bharat Electronics Ltd	739,000	2,044,000	4.07
Birla Corporation Ltd	99,000	2,023,134	4.02
Can Fin Homes Ltd	100,000	838,194	1.67
Cholamandalam Investment and Finance Co Ltd	140,400	1,154,108	2.30
City Union Bank Ltd	292,500	657,663	1.31
Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd	165,000	1,027,254	2.04
Escorts India Ltd	23,900	501,548	1.00
Gland Pharma Ltd	16,700	826,271	1.64
Gujarat Gas Ltd	123,000	1,023,495	2.04
Honeywell Automation India Ltd	1,500	841,090	1.67
ICICI Bank	171,500	1,839,274	3.66
ICICI Lombard General Insurance Co. Ltd	47,650	943,974	1.88
Jindal Steel & Power Ltd	271,800	1,516,627	3.02
Krsnaa Diagnostic Ltd	52,425	470,478	0.94
L&T Technology Services Ltd	32,300	2,040,728	4.06
Mahanagar Gas Ltd	34,700	465,453	0.93
Mphasis Ltd	50,700	2,193,666	4.36
MRF Ltd	1,200	1,240,473	2.47
Muthoot Finance Ltd	13,300	261,026	0.52
PNC Infratech Ltd	340,000	1,474,825	2.93
Rallis India Ltd	68,000	241,273	0.48
Rolex Rings Ltd	35,200	549,069	1.09
SBI Cards & Payment Services Ltd	80,000	1,128,663	2.25
Steel Authority of India Ltd	435,000	669,492	1.33
Sundram Fasteners Ltd	110,000	1,228,910	2.44
Tata Power Company Ltd	560,000	1,604,690	3.19
Timken India Ltd	36,850	885,923	1.76

銘 柄 名	株 数	評価額	比 率
		USD	%
United Spirits Ltd	155,000	1,963,464	3.91
UTI Asset Management Co. Ltd	90,000	1,246,159	2.48
V.I.P Industries Ltd	239,000	1,736,275	3.45
Vinati Organics Ltd	88,100	2,252,278	4.48
Vmart Retail Ltd	28,800	1,564,315	3.11
Voltas Ltd	98,400	1,584,896	3.15
合 計		47,542,247	94.57

(注) 日付は現地基準です。
(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第35期（決算日 2022年6月10日）
（計算期間 2021年12月11日から2022年6月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2022年6月10日に第35期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	396

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

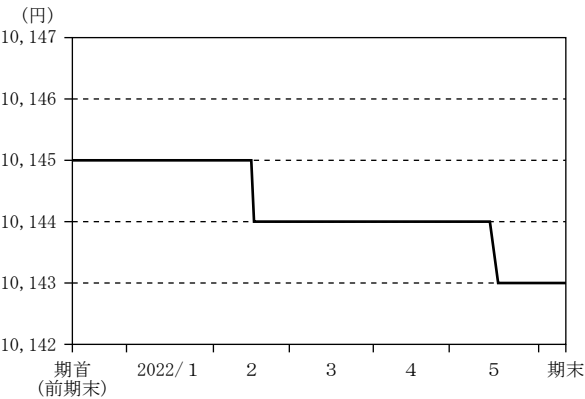
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2021年12月10日	円 10,145	% —	% —
12月末	10,145	0.0	—
2022年 1 月末	10,145	0.0	—
2 月末	10,144	△0.0	—
3 月末	10,144	△0.0	—
4 月末	10,144	△0.0	—
5 月末	10,143	△0.0	—
期 末 2022年 6 月10日	10,143	△0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,145円から期末は10,143円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の $\Delta 0.12\%$ から期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、エネルギー価格の上昇等を反映してプラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年 6 月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年 6 月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	396,300	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	396,300	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	396,300,963円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	396,300,963
(B) 負 債	705
未 払 利 息	705
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	396,300,258
元 本	390,707,944
次 期 繰 越 損 益 金	5,592,314
(D) 受 益 権 総 口 数	390,707,944口
1 万口当たり基準価額 (C/D)	10,143円

- (注) 期首元本額 404,074,136円
 期中追加設定元本額 601,282円
 期中一部解約元本額 13,967,474円

(注) 1口当たり純資産額は1.0143円です。

- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| T & Dインド中小型株ファンド | 69,040,591円 |
| 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース | 1,653,709円 |
| 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース | 28,961,659円 |
| 米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース | 88,475円 |
| 豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型) | 9,718,980円 |
| 野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 | 15,203,451円 |
| 野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型 | 4,690,232円 |
| 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 | 6,884,550円 |
| 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型 | 1,424,313円 |
| 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型 | 13,394,468円 |
| 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型 | 1,651,239円 |
| 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 毎月分配型 | 124,252,174円 |
| 野村エマージング債券投信 (ブラジルリアルコース) 年2回決算型 | 7,765,966円 |
| 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 | 1,413,489円 |
| 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型 | 131,726円 |
| 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型 | 1,038,862円 |
| 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型 | 160,506円 |
| 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 | 43,012,339円 |
| 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型 | 7,932,323円 |
| 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 | 33,235,413円 |
| 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型 | 2,464,915円 |
| 野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型 | 10,580,958円 |
| 野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型 | 5,829,793円 |
| 野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型 | 177,813円 |

損益の状況

当期 自2021年12月11日 至2022年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 92,775円
受 取 利 息	2,830
支 払 利 息	△ 95,605
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 92,775
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,878,897
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,718
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 202,526
(F) 合 計 (B + C + D + E)	5,592,314
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	5,592,314

(注) 損益の状況の中で

- (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。